

2015年4月20日

100年の綿糸ブランド「金魚®」が、今よみがえる

日本を代表する綿糸として国内外で高く評価された綿糸ブランド「金魚®」が、現代によみがえりました。今後、今治タオルを中心に、さまざまな織物用途へ展開していきます。



「金魚®」の図形商標

1. 綿糸ブランド「金魚®」の歴史

1914年（大正3年）、大阪紡と三重紡が合併し、東洋紡が創立されました。その4年後の1918年（大正7年）に、綿糸ブランドとして「金魚®」は誕生しました。

「金魚®」は、東洋紡の綿糸の代表的な商標で、^{*}三品取引所開設以来、標準銘柄として香港・ビルマ（現ミャンマー）・インドネシアをはじめとする海外諸国に広くその名をはせ、日本を代表する綿糸ブランドとして育ちました。

今治のタオル用綿糸としても愛された「金魚®」ですが、1986年（昭和61年）の今治工場の操業休止に伴い、「金魚®」の生産も一旦終わりを迎えました。

そして今、定番品として当時人気を博した「金魚®」が、現在のニーズに合わせてよみがえりました。

※ 三品取引所（さんぴんとりひきじょ）とは、商品取引所法に基づく商品取引所の一つです。綿糸、綿花、綿布の三品を扱う株式会社組織の「大阪糸綿木綿取引所」として1894年に開業されました。1901年「大阪三品取引所」に改称、1942年に解散、1951年に会員組織として再開されました。

2. 綿糸「金魚®」の特長

(1) やわらかな風合い

綿本来のソフトでやわらかなふくらみを持ち合わせた綿糸です。製品としての仕上がりは素朴で懐かしくやわらかな風合いです。

(2) 上質な肌触り

糸の繊度が細く、定番のカード糸よりも一格上の差別化綿糸です。使うほどに肌になじむ織りあがりです。

(3) 国産にこだわったモノづくり

厳選した原綿を使用し、現在は東洋紡の富山事業所 入善工場、井波工場で生産しています。糸抜けが少なく丈夫で劣化しにくい品質を持続します。

3. 「金魚®」を使用したタオルケットを販売

綿糸「金魚®」をぜいたくに使用し、タオル産地・愛媛県今治市で仕立てた、上質なタオルケットが出来上がりました。厚みのある生地が、ふっくらとやわらかく肌を包み込みます。タオルケットには、今治ブランドの証である「今治タオル」のタグが付いています。



商品名 : 「今治復刻版
金魚® タオルケット」
希望小売価格 : ¥ 5, 980 - (税抜)
サイズ : 145 × 190 cm
色 : ホワイト
商品お問い合わせ先 : 株式会社トーホー
06-6943-5355

「今治復刻版 金魚® タオルケット」は、総合オンラインストア「アマゾン」で販売しています。

この製品は東洋紡㈱の綿糸「金魚」を使用して、㈱トーホーが製造した商品です

以上

<この件に関するお問い合わせ先>
東洋紡株式会社
コーポレートコミュニケーション室
電話 : 06-6348-4210